

サンコール株式会社

～ 平成30年3月期 第2四半期決算報告 ～

ご注意

本日の説明および配布資料には、当社の事業に関する業績見通し、将来の計画・方針等に関する記述が含まれていますので、株券等の取引を行う際には、金融商品取引法その他の法令の遵守をお願い申し上げます。また、将来予想は、現時点で入手できる情報に基づき作成しており、既知または未知のリスク・不確実な要因等を含んでいるため、当社の実際の業績、事業活動や財政状態が、将来予想の内容と大きく異なる場合がありますが、そのような場合であっても当社は、将来予想の内容を更新または修正して公表・開示する責任を負うものではありません。

平成29年11月27日
代表取締役社長 山主千尋

サンコール株式会社 決算報告

1. 会社概要
2. 平成30年3月期 第2四半期決算要約
3. 平成30年3月期 業績見通し
4. 第2四半期トピックス

1. 会社概要

【会社概要】



京都本社

設立 : 1943年6月
資本金 : 48億8百万円
本社 : 京都市
証券取引所 : 東証 1 部
従業員数 : 連結2,398名
 単体577名
 (2017年第2四半期末時点)

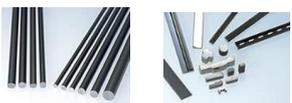
【海外拠点】 7か国15拠点

	国・地域	出資比率	生産品目
1	アメリカ	インディアナ州	弁ばね、リングギアほか
2		サウスカロライナ州	光通信部品（販売拠点）
3		テキサス州	
4	メキシコ	アグアスカリエンテス州	弁ばね用材料、リングギア
5		アグアスカリエンテス州	シートベルト用ぜんまいばね
6	中国	広州	弁ばね、リングギアほか
7		広州	弁ばね用材料（販売拠点）
8		佛山	弁ばね用材料
9		天津	リングギア
10		深圳	プリンター用ローラー、光通信部品
11		香港	ほか
12	タイ	チョンブリ県	弁ばね、リングギア、 シートベルト用ぜんまいばね プリンター用ローラーほか
13	ベトナム	ハノイ	プリンター用ローラーほか
14	韓国	梁山	シートベルト用ぜんまいばね材料
15	フィリピン	マニラ	HDD用サスペンション（駐在員事務所）

【事業分野・主要製品】

自動車関連事業

精密機能材料



弁ばね用線

精密
异形線

精密機能部品



弁ばね

リングギア

バルブコッター

异形リング



ぜんまいばね



リアクターコイル



モーターコア部品

電子情報通信事業

HDD部品



HDD
サスペンション

プリンター部品



ローラー

トルクリミッター
スプロッキングラッチ

デジトロ部品



光コネクタ

光アダプタ



プローブ
ピン

2. 平成30年3月期 第2四半期決算要約 決算概要

(単位：百万円)	平成29年3月期 第2四半期	平成30年3月期 第2四半期		
	実績	実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	18,564	20,157	+1,593	+8.6%
営業利益	1,167	873	△294	△25.2%
経常利益	450	1,160	+710	157.8%
当期純利益	209	884	+675	321.2%

一株当たり利益	6.61円	27.82円	+21.21円	---
平均為替レート 円/USD	105.30円	111.07円	+5.77円	---
円/EURO	118.16円	126.29円	+8.13円	---

- ・ 売上 : 日本、アジアでの自動車関連部品販売増、HDD用サスペンション販売増
- ・ 営業利益 : 北米各子会社生産性改善遅れ、HDD用サスペンション増産ライン立ち上げコスト負担増
- ・ 経常利益 : 海外子会社の為替環境改善による為替差益

2. 平成30年3月期 第2四半期決算要約

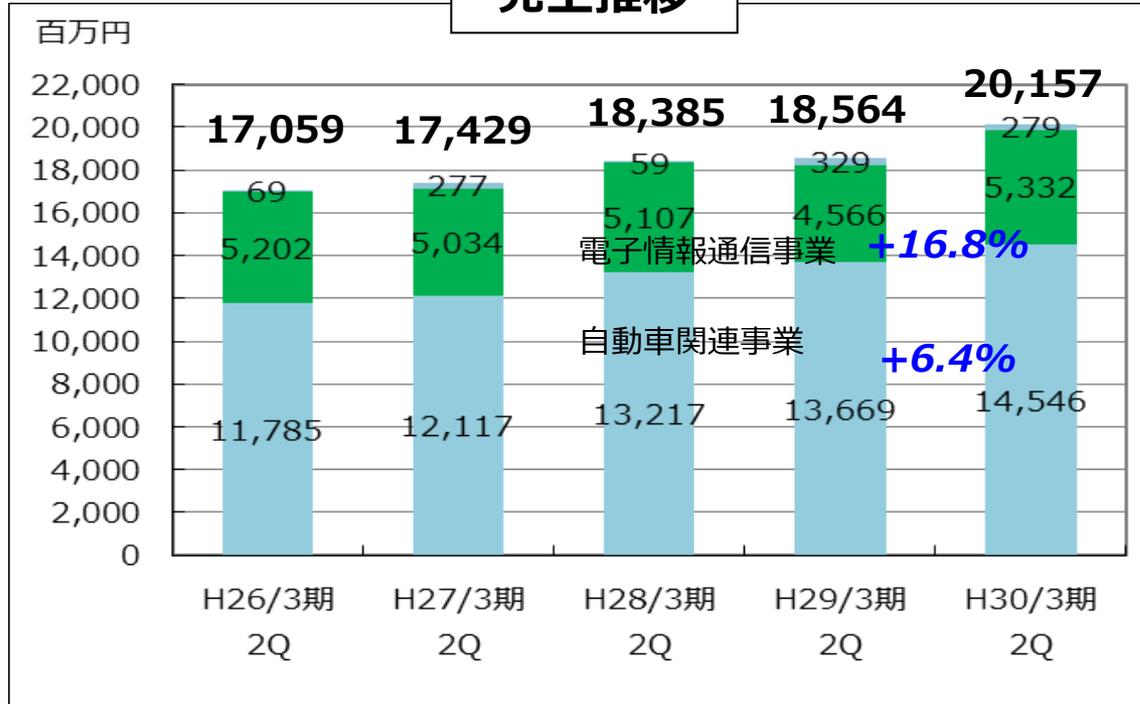
営業外損益

(単位：百万円)	平成29年3月期 第2四半期	平成30年3月期 第2四半期	
	実績	実績	前年同期比 増減額
受取配当金	57	60	+3
為替差益	—	208	+208
その他	85	105	+20
営業外収益合計	143	374	+231
持分法投資損失	▲39	▲18	+21
為替差損	▲789	—	+789
その他	▲31	▲68	△37
営業外費用合計	▲861	▲87	+773
営業外損益合計	▲718	287	+1,005

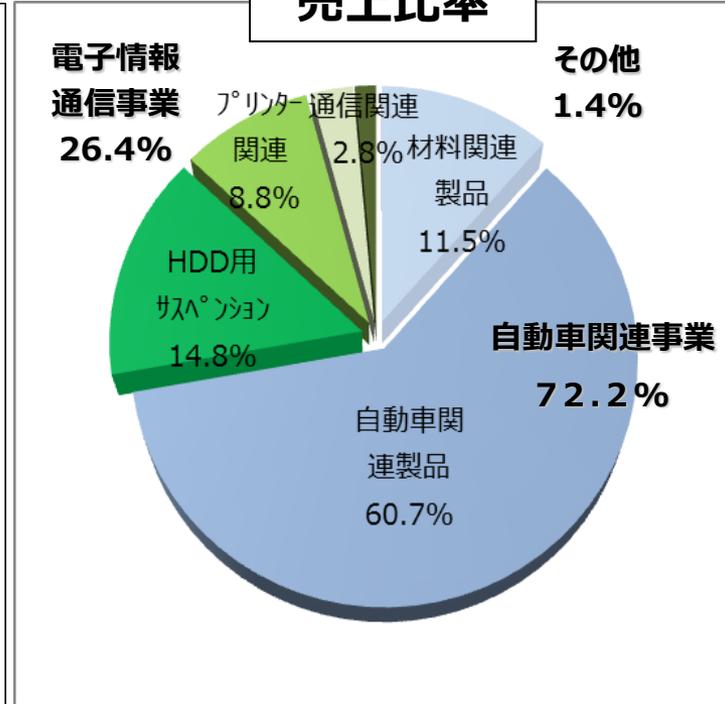
- ・ 持分法投資損益：中国合併企業の連結取込益改善
- ・ 為替差損益：円安基調（期中平均 前年105.30/ドル→当期111.07/ドル）、メキシコペソ高基調（期首20.66/ドル→期末17.90/ドル）による影響

2. 平成30年3月期 第2四半期決算要約 事業別売上推移・比率

売上推移



売上比率



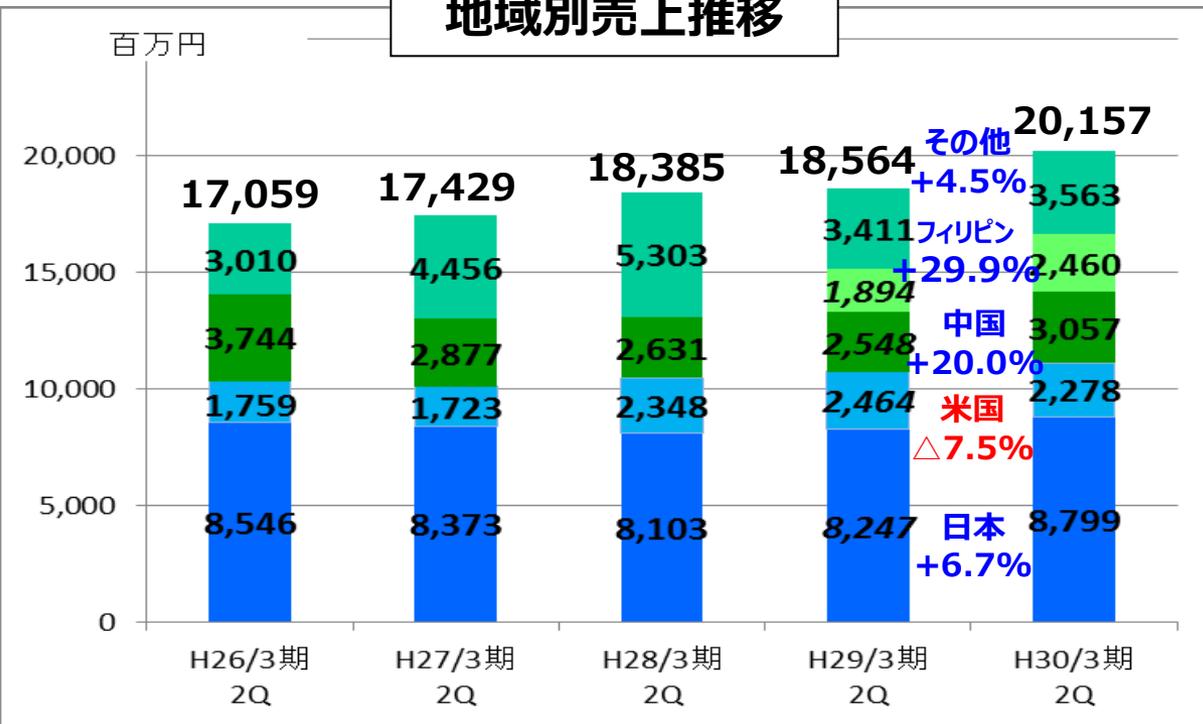
ー H30/3期第2四半期実績

- 自動車関連事業 : 中国、メキシコ弁ばね用鋼材販売増
日本、中国、タイでエンジン用部品の需要増
- 電子情報通信事業 : HDDサスペンション 大容量・高性能HDD対応モデルの需要増
プリンター 中国、ベトナムで関連部品販売増

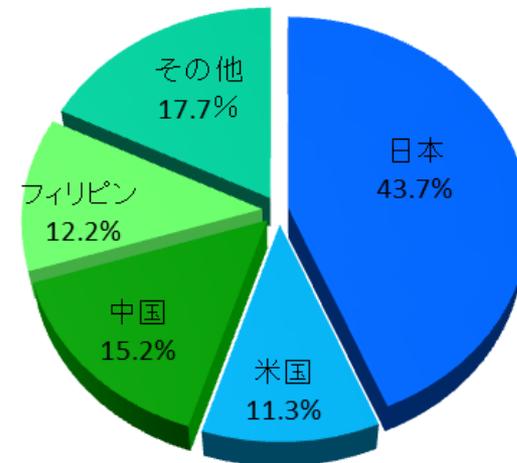
2. 平成30年3月期 第2四半期決算要約

地域別売上推移・比率

地域別売上推移



地域別売上比率



* 売上高は顧客の所在地に基づく分類

ー H30/3期第2四半期

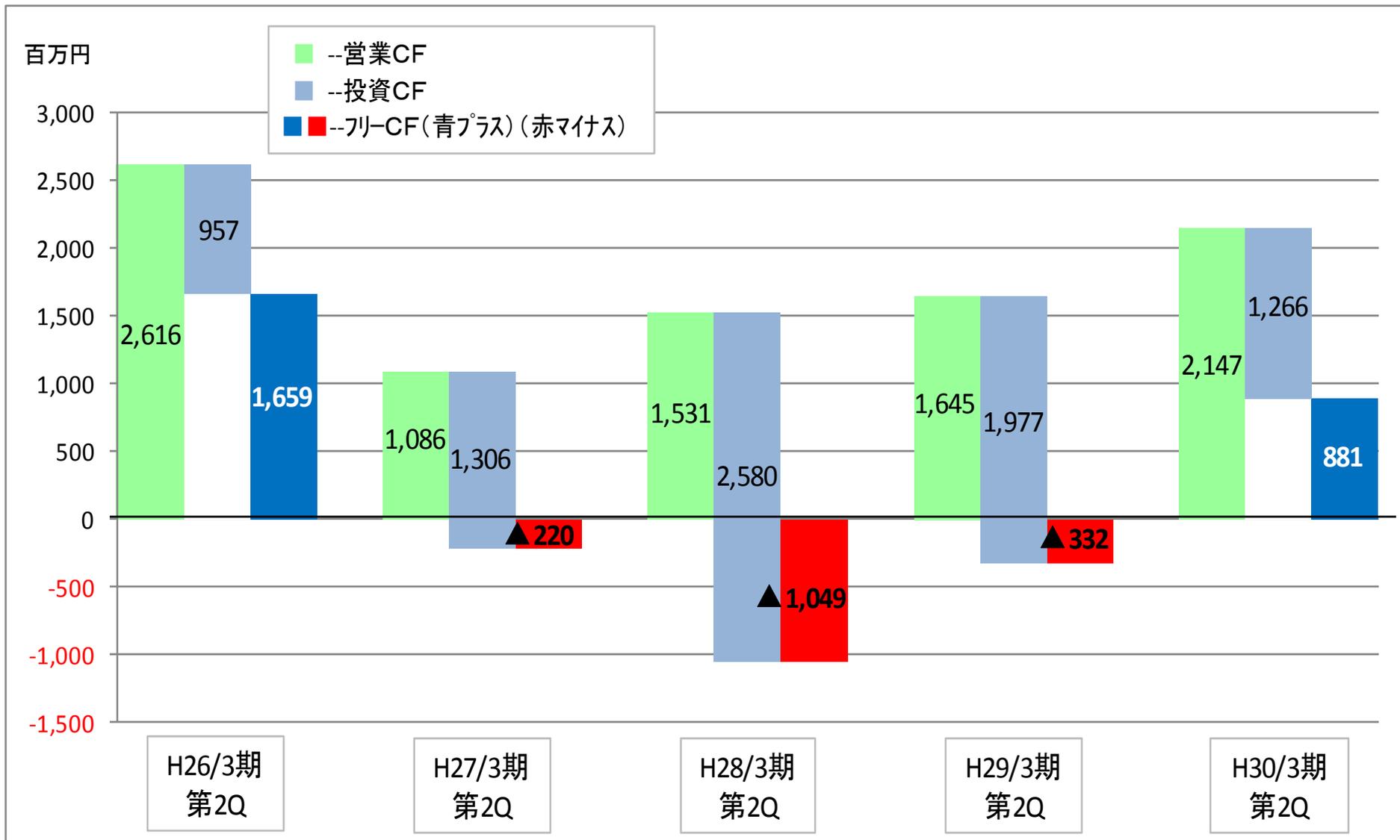
- ・ 日本 : エンジン弁ばね、ミッション用ばね等、自動車関連製品の販売増
- ・ 北米 : エンジン部品のメキシコ生産移管
- ・ 中国 : 弁ばね用鋼材販売、エンジン部品の販売増
- ・ フィリピン : HDD用サスペンションの販売増
- ・ その他 : メキシコ 鋼材/エンジン部品の生産増、ASEAN 自動車関連製品の販売増

2. 平成30年3月期 第2四半期決算要約 連結財政状態

(単位:百万円)	平成29年3月末	平成29年9月末	増減
資産合計	45,296	47,701	2,405
現預金	7,865	9,375	1,510
売上債権	8,470	8,395	△ 75
棚卸資産	4,956	5,288	332
その他流動資産	1,106	873	△ 233
固定資産	22,895	23,767	872
負債合計	12,422	13,794	1,372
流動負債	9,158	9,790	632
固定負債	3,263	4,003	740
(有利子負債)	1,580	2,478	898
純資産合計	32,874	33,907	1,033

2. 平成30年3月期 第2四半期決算要約

フリーキャッシュフロー

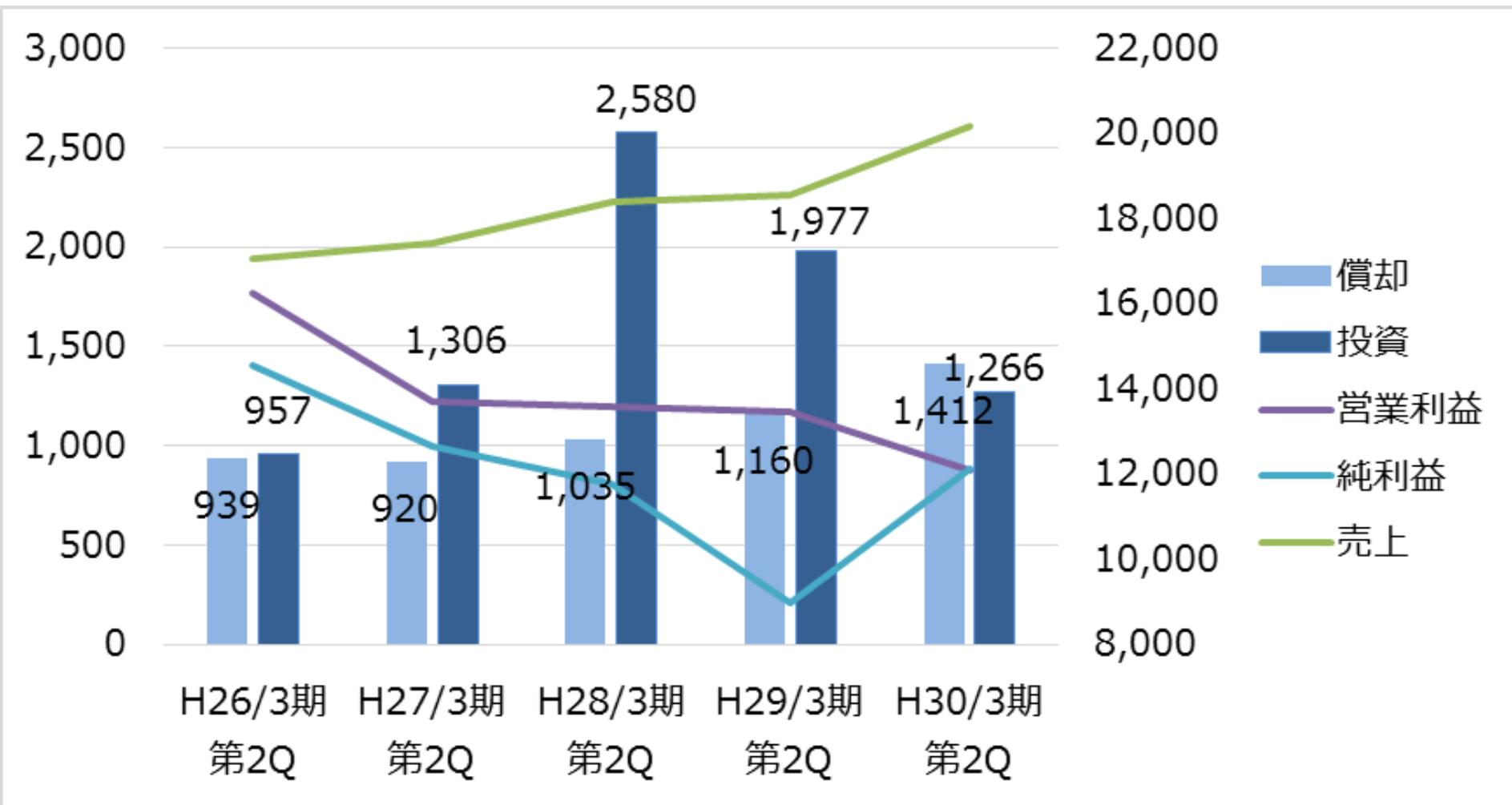


2. 平成30年3月期 第2四半期決算要約

投資・償却金額

投資・償却
営業利益
純利益
百万円

売上
百万円



3. 平成30年3月期 業績見通し

【事業環境】

	計画	第2四半期期中平均	下期見通し
- 為替レート	ドル = 108円	→ 110.07円	112円
	ユーロ = 116円	→ 126.29円	132円
- 需要予測			
・自動車関連事業	：国内・海外の受注堅調		
・HDD用サスペンション	：第3/4四半期の需要動向不透明		
・プリンター関連事業	：受注は横ばいで推移		
- その他	：米国の通商政策によるメキシコ・ペソ為替相場への影響は不安定要因		

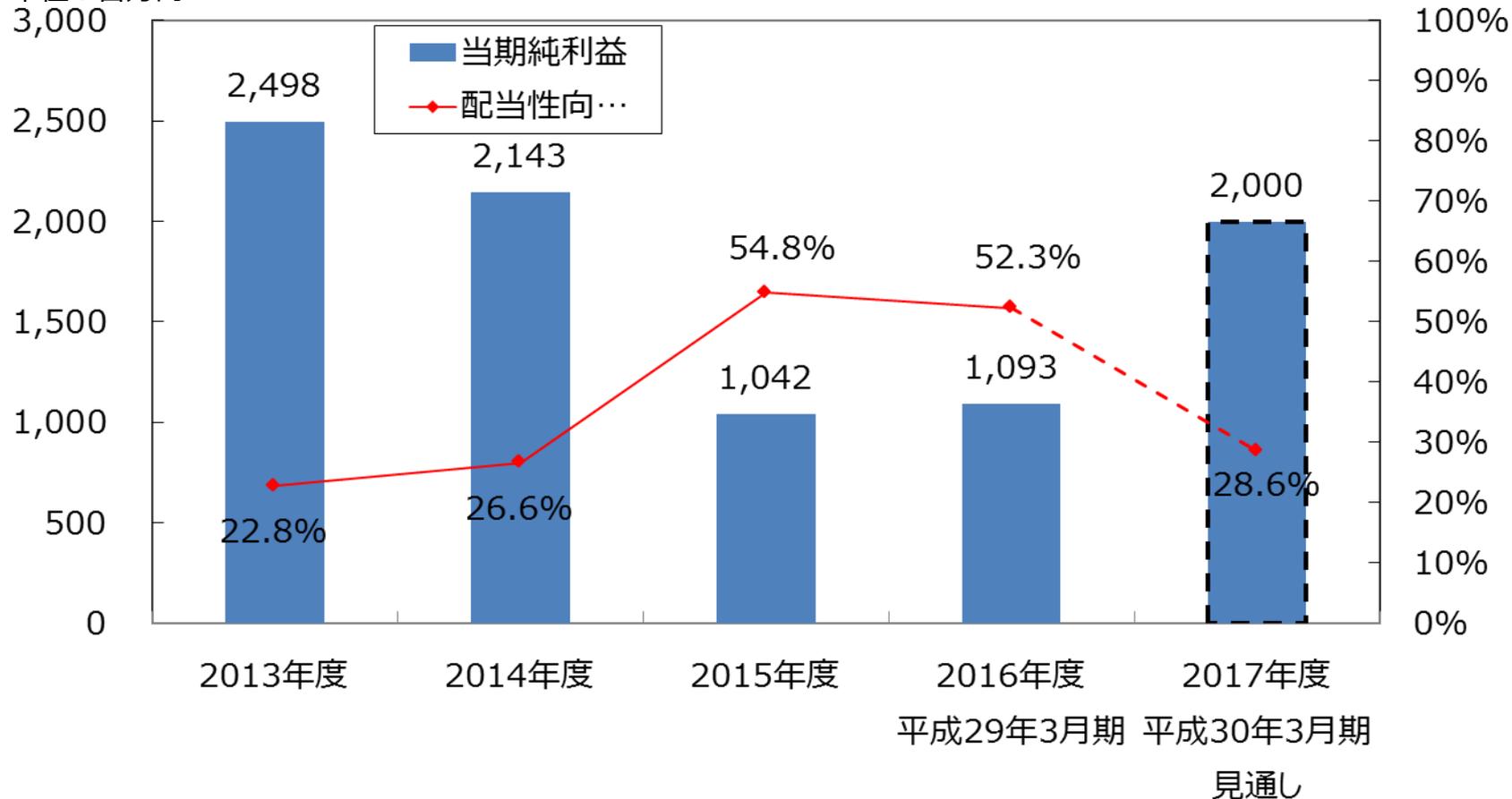
【通期見通し】

(単位：百万円)	平成30年3月期 第2四半期		平成30年3月期
	計画	実績	見通し (17年5月公示 据え置き)
売上高	19,400	20,157	41,500
営業利益	950	873	2,700
経常利益	950	1,160	2,600
当期純利益	700	884	2,000

現状では通期見通し据え置き。

3. 平成30年3月期 配当政策

単位：百万円



配当政策： 現行配当額1株18円の維持を下限目標

－ 2017年度 (予定) : 中間配当 8円 / 期末配当 10円
 合計 18円 / 配当性向 28.6%

4. 第2四半期トピックス

— 中期経営方針 / 取組事例 —

中期経営方針 :

『企業価値向上』を目指し、コア事業の経営資源の効率化と成長分野への投資による事業の拡大発展を進める。

1) 自動車関連事業

既存事業の基盤強化と拡大

自動車用線材生産能力引き上げによるグローバル最適生産・供給体制の構築

2) 電子情報通信事業

経営資源の集中と開発力、営業力の強化によるシェアの維持・拡大

3) 新規事業

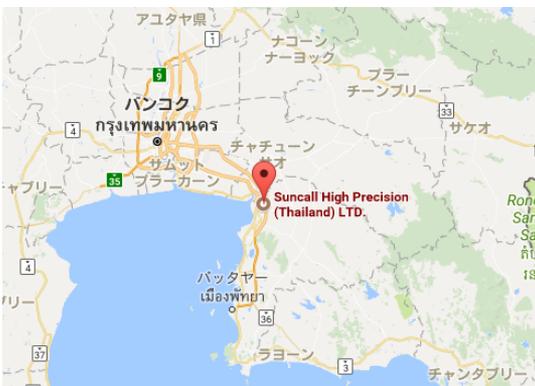
自動車電動化部品の開発、新素材の研究開発、医療・環境事業への参入

4. 第2四半期トピックス

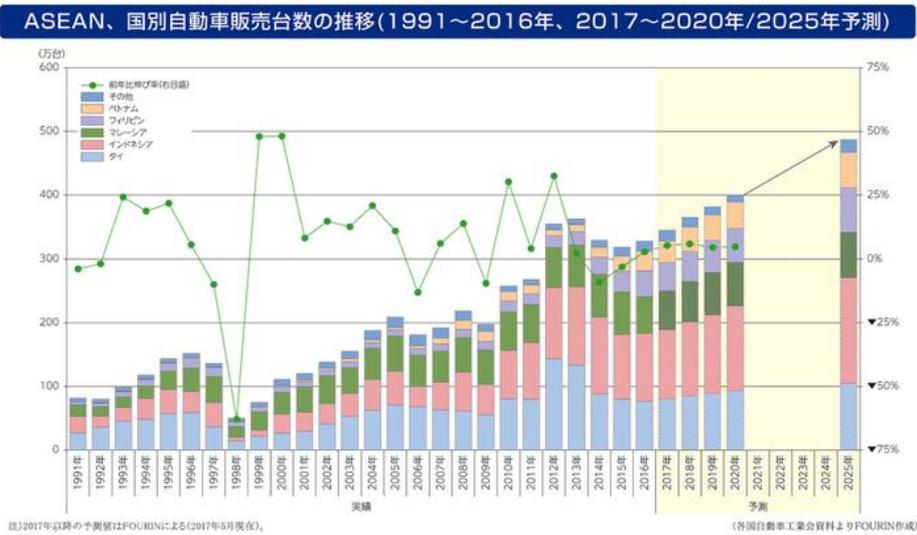
— 取組事例 / タイ工場 生産拡大 —

基盤強化と拡大：
ASEAN向け自動車用部品生産能力引き上げ

SUNCALL HIGH PRECISION (THAILAND) LTD



- 事業品目
- ・自動車用部品事業
 - ・プリンター関連事業



— 弁ばね/リングギアの生産拡大

【対象製品】 【売上計画/2製品】



弁ばね



ドライブプレート



◆ 2020年売上は今年度対比20%増を計画

4. 第2四半期トピックス

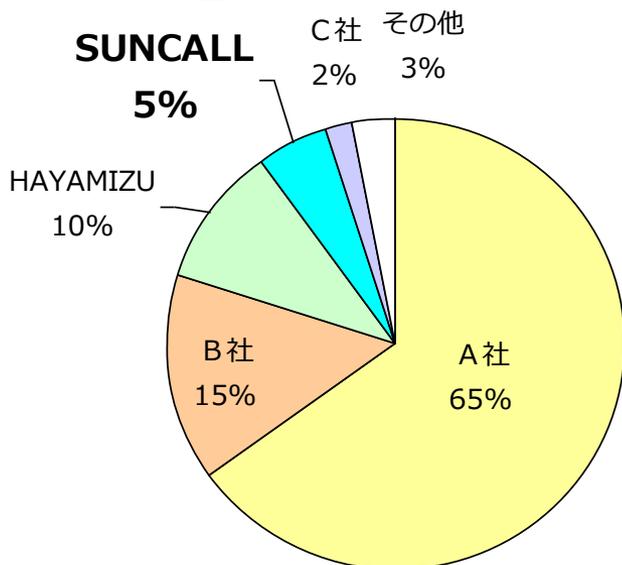
— 取組事例 / シートベルト事業拡大 —

基盤強化と拡大：自動車用線材生産能力引き上げ

— シートベルト用ぜんまいばね

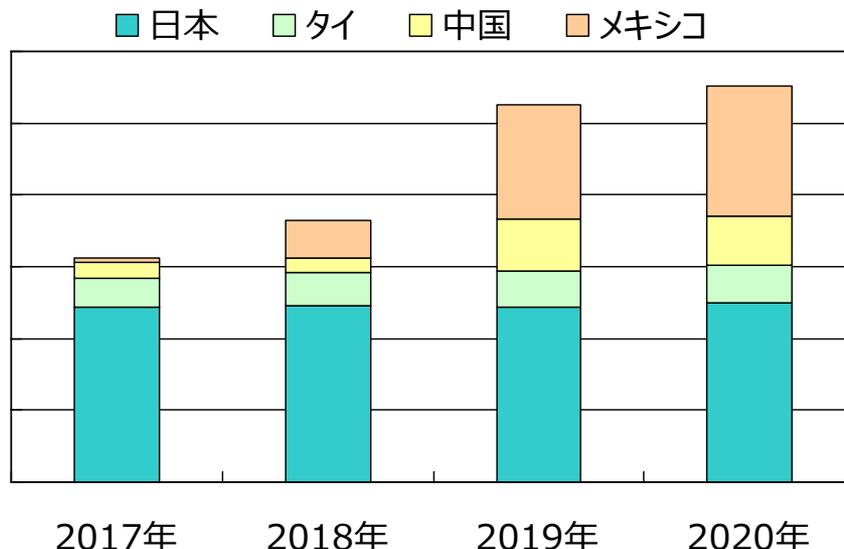


— グローバルシェア



◆ 2020年 10%を目標

— 生産計画



- シートベルト用ぜんまいばねの需要増加に伴い生産能力とシェア拡大
- グローバル生産体制の効率活用による現地客先ニーズへ対応

- ・ 材料生産：韓国（合併）
- ・ 製品組立：日本、中国、タイ、メキシコ（合併）

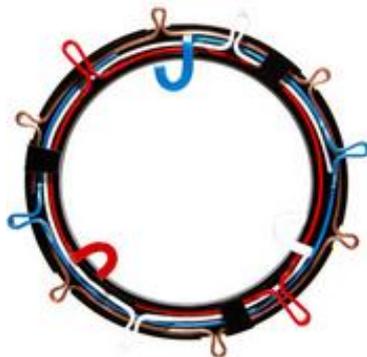
4. 第2四半期トピックス

– 取組事例 / 新規事業：自動車電動化部品 –

自動車電動化部品 EV/HV/PHV/FCV分野への参入



シャント・オン・バスバー（大電流センサー）
KOA社共同開発



バスリング



モーターコア・
ローターコア
ASSY



バスバー



リアクター・リアクトルコイル

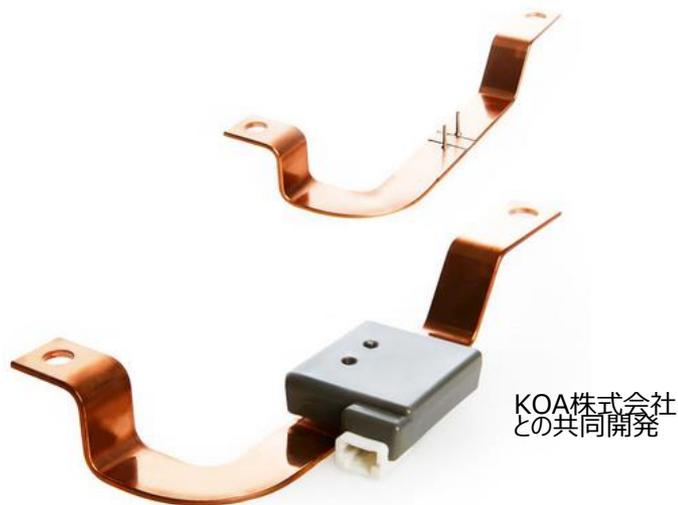


4. 第2四半期トピックス

— 取組事例 / 新規事業：自動車電動化部品 —

成長分野への参入：自動車電動化部品 / シャント on バスバー

バスバー一体型の電流センサー
低電流から大電流まで高精度に検出



【製品用途】

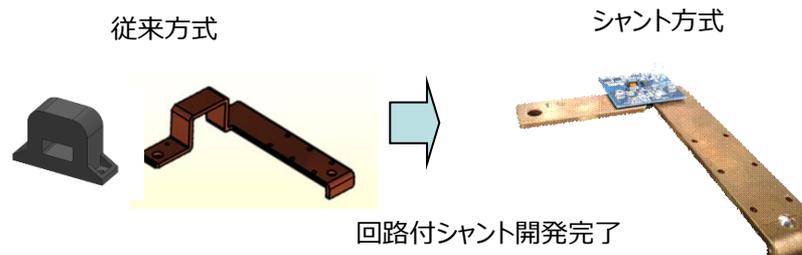
- ・車載・産業機器・エネルギー分野における電流検出
- ・バッテリーマネージメントシステム（BMS）
- ・高周波対応が要求されるインバータの電流制御

【製品効果】

- ・▲40%の重量削減
- ・直線性誤差精度 2%→0.2%

【開発状況】

- ・量産開始
- ・回路付シャントonバスバーの開発完了



【今後の取組み】

- ・国内外メーカーからの引き合い案件増加に伴い
早期量産化に向け体制強化



4. 第2四半期トピックス

— 取組事例 / 新規事業：環境・エネルギー事業 —

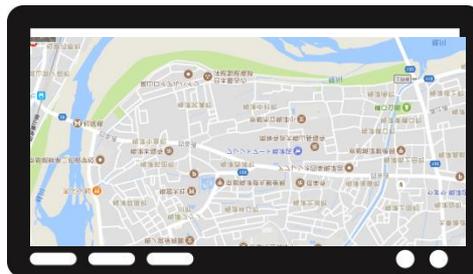
環境・エネルギー事業への参入

環境・エネルギー関連製品



炭素材
炭素材量産装置

竹材からの製造過程で
CO₂排出量削減



タッチパネル塗料

竹炭利用炭素材
量産化製品



固定砥粒ワイヤ
ダイヤモンド・ワイヤ

太陽光発電用シリコン
ウェハ切断に使用

4. 第2四半期トピックス

— 取組事例 / 新規事業・環境関連製品 —

新規事業への参入：環境・エネルギー / 炭素材開発 竹炭

京都の会社が京都の竹を利用した
京都ブランド。

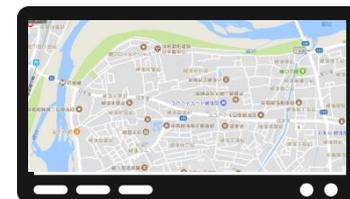
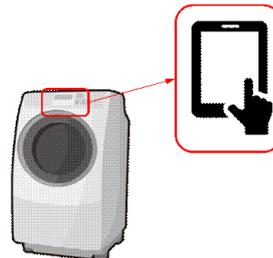


【製品用途】

- ・ゴム用フィラー
- ・脱臭製品
- ・吸放湿製品
- ・塗料・インキの顔料
- ・将来的にキャパシタ

【開発状況】

- ・採用・量産化決定
 - カーナビ用タッチパネル
 - 家電用タッチパネル
- ・その他、車載部品で引合いあり、現在評価中



【今後の取組み】

- ・高絶縁性、漆黒性、粉碎径 3 μの技術を武器に
カーナビ・スマホ用タッチパネルにも拡販
- ・車関連含め、他業種への展開を進める



4. 第2四半期トピックス

— 取組事例 / 成長分野への事業参入 —

医療・介護事業への参入



装着型運動支援装置



リハビリロボット
『オルソロボット』



その他運動支援装置

4. 第2四半期トピックス

— 取組事例 / 新規事業・医療・介護関連製品 —

新規事業への参入 : 医療・介護 / 装着型運動支援装置

当社の医療・介護機器事業への第一歩。
リハビリロボット『装置型運動支援装置』



【開発品特性/目標】

- ・センサー類を本体に内蔵するため装着が簡単
- ・シンプルな構造でより安価に提供できる可能性
- ・日常生活支援への展開

障害の垣根を超える技術の開発。
リハビリロボット『オルソボット』（商標獲得）



2号機

小型化 (子供仕様)

【開発品用途】

脳卒中後の
歩行リハビリ補助

【開発状況】

小型化開発

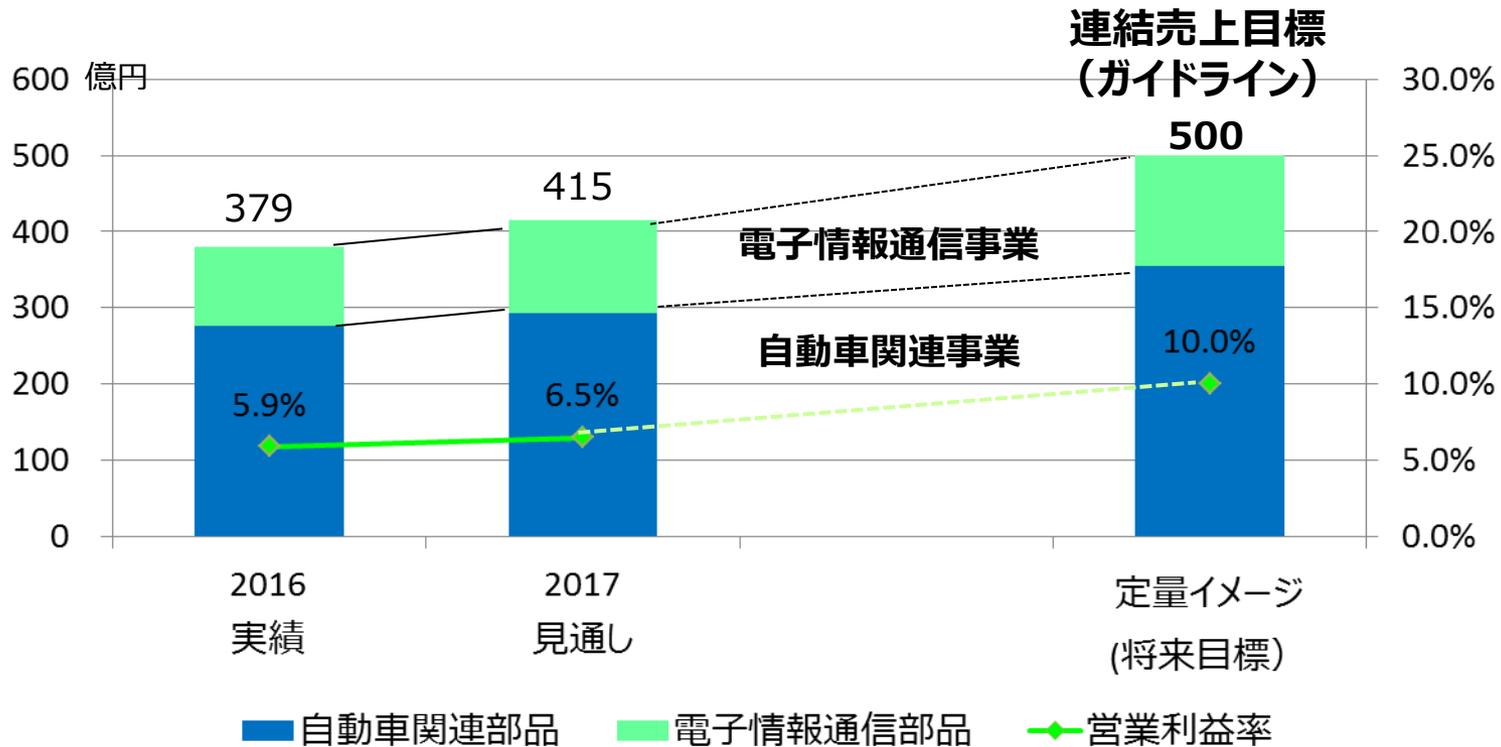
※当開発品は当社が参加する京都大学COI(Center Of Innovation) 拠点グループ2で共同開発を行っています。

【新規取組】

農作業運動支援装置へ応用開発を検討



— 中期経営方針 定量イメージ —



- **定量イメージ** : **連結売上500億円 / 営業利益率 10%**
(将来目標)
- **配当金 (中期計画期間/2018年までの目標)** :
 株主帰属当期純利益に対する配当性向
 25億円までの部分 25%
 25億円を超える部分 35%
 現行配当額1株18円の維持を下限目標とする

Fine Precision, Nano Solution

